

【肝胆膵領域の腫瘍性病変についての多施設共同後方視的臨床研究】のため、
 当院に入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

当院の研究責任者 (所属)	田村 明彦 (栃木医療センター 副院長) 鈴木 慶一 (栃木医療センター 外科部長)
他の研究機関およびの研 究責任者	北郷 実 (慶應義塾大学病院 一般・消化器外科専任講師)
本研究の目的	<p>肝胆膵領域の悪性腫瘍は一般的に治療が難しい「難治癌」として知られています。最も有効な治療法は手術による切除であることが多く、これまでも手術された症例についての情報蓄積によって技術・戦略ともに発展してきました。また一方で、化学療法・放射線療法などの技術の進歩により、手術だけでなくそれらを用いた集学的治療も行われています。今後も研究によって、さらなる病態解明や治療法の開発・向上が求められています。そのため我々は、過去に治療された患者様の情報を集め、統計学的に検証を行うことを目的としております。</p>
調査データ 該当期間	1970年1月1日より2022年3月31日までの間に、栃木医療センター外科にて肝胆膵領域腫瘍性病変の診断又は治療のため入院・通院し診療を受けた方。
研究の方法 (使用する試料等)	過去に治療された患者様の診療録・画像データを閲覧し、データを集積した後に解析を行います。
試料/情報の 他の研究機関への提供	多施設共同研究であり、他の研究機関・研究責任者へ提供します。
個人情報の取り扱い	<p>本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。本研究で取り扱う患者さんの診療情報は個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ(匿名化データ)として使用します。患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報は本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究終了時に(または倫理委員会に承認された破棄時点で)完全に抹消します。なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：028-622-5241(代) 担当者：鈴木 慶一 (栃木医療センター 外科)